

目指すのは環境に優しい解体業者 社会貢献のため、企業努力を重ねていく



三ツ木 清隆 (俳優)

家屋解体施工・管理、産業廃棄物収集運搬、それらに付随する外構工事、造成工事、不動産関連業務など、幅広く手掛けている「コスモ・エコ」。規制が強まる解体業界において、リサイクルを前提とした分別解体ルールを重んじ、社会的貢献度の高い企業を目指している。本日は、俳優の三ツ木清隆氏が同社を訪れ、小野社長にお話を伺った。



代表取締役 **小野 正和**

岡山県出身。明治大学商学部在学中に様々なアルバイトを経験し、卒業後は飲食業界に入る。その後、輸入雑貨の訪問販売を手掛ける企業に転職。当時の同僚の誘いを受けて、解体業界に転身した。53歳で独立し、平成15年11月に「コスモ・エコ」を設立。現在に至る。

三ツ木 早速ですが、まずは社長の歩みからお伺いしたいのですが。

小野 貿易関係の仕事に就きたいと、漠然とですが思っていましたね。地元を離れ、新天地で頑張ってみたいという気持ちもありました。明治大学に進学しましたが、裕福な家庭ではありませんでしたので、色んなアルバイトを経験しました。

「一緒に仕事をさせて頂く際、会社の規模ではなく、その会社で働く人や会社の方向性を重視してきました」と仰っていた小野社長。仕事は信頼関係の上に成り立つものと、人のお付き合いに重きを置かれる姿勢が、業界にパイプをつくり、会社を今日の成長へと導いてきたのでしょうか。人のご縁を大切に、これからも歩まれることでしょうか。御社のこれからの、楽しみにしていますよ」

大学時代は、勉強云々よりも、社会勉強という意味合いの方が大きかったように思います。

三ツ木 社会に出て最初に就かれたのはどのようなお仕事で？

小野 アルバイトの延長で飲食業界に入り、10年ほど働いていました。喫茶店の店員や洋菓子レストランのマネージャー、クラブのボーイなど、色んな職種を経験しました。

三ツ木 現在のお仕事とは全く違う分野ですよね。

小野 はい。勤めていた喫茶店には、サラリーマンのお客様も多くいらっしゃり、サラリーマンもいいかなと思うようになりましたね。輸入雑貨の訪問販売の仕事に転身したんです。その後、建設業界に転身していた当時の同僚に誘われ、この業界に入ったんです。未経験の世界でし

PROFILE



家屋解体施工・管理
有限会社 コスモ・エコ

神奈川県川崎市中原区
 木月 794-3
 TEL 044-431-2005
 0120-78-7744
 URL: <http://www.cosmo-eco.com>

建設業
 神奈川県知事許可(般-15)第68473号
 産業廃棄物収集運搬事業
 川崎市 第5700108972号
 横浜市 第5600108972号
 神奈川県 第1402108972号
 横須賀市 第5802108972号
 相模原市 第09800108972号
 東京都 第1300108972号



たが、解体業は、建物がある限り需要がなくなることはないだろうと思ったんですよ。

三ツ木 では、その後独立を果たされたのですね。

小野 約20年ほど勤めましたかね。勤めていけば、生活に困ることはありませんが、会社と自分の目指す方向性にギャップを感じるようになったんです。そして53歳の時に退職。その歳で全く違う業界へ転身するのは難しいですが、解体業界にはパイプがありましたので、色々助けられましたよ。

三ツ木 社長が、人とお付き合いを大切にしてくれたからこそですね。

小野 そうですね。私は、一緒に仕事をさせて頂く際、会社の規模ではなく、その会社に働く人や会社の方向性を重視してきました。そのお陰で、こうして長くお付き合いできる方々に恵まれたんだと思います。

三ツ木 分かります。実は私も事務所を独立したのですが、感性の合う人と仕事をしたと、強く感じるようになりました。やはり、気持ちよく仕事をできるのが何よりですね。

小野 ええ。そういう意味では、のびのびと仕事をしてられたように思います。許可を得なければできない仕事ですので、独立後すぐに軌道に乗ったわけではあり

ませんが、後押しして下さる方にも恵まれました。

三ツ木 では、お仕事について伺います。最近では環境問題もあり、以前のように解体後の廃棄物の処理方法も変わってきていると思いますが、いかがですか。

小野 そうですね。ゴミの処分問題については、一般の方に対しても厳しさを増している今日ですので、企業の社会的責任も問われています。アスベスト問題も大きく取り上げられ、その対策も難しいところです。一企業として、行政の方針に従い細心の注意を払うと共に、リサイクルを前提にした解体業を進めていきたいと考えています。

三ツ木 では、お仕事上、大切にされているのはどんなことですか。

小野 企業というのは、社会的責任を果たし、社会に貢献できることが、大前提

です。仕事を通して、自分という人間を信頼して頂けるよう、誠心誠意、仕事に当たっています。仕事とは、信頼関係の上に成り立つもの——そう思うのです。人生の中で出会えた人たちとの縁を大切にしていきたいですね。

三ツ木 それでは、最後に今後の抱負をお伺いします。

小野 現在はまだ、会社としての基盤づくりが優先ですが、当社を1つの拠点として、社員みんなの暮らしを支えていける場にしていきたいですね。息の長い会社にするために、後継者の育成にも力を入れていきたいと思っています。また、解体業には不動産業も関係してきますので、新たに、宅建の資格も取得したのですよ。今後の展開に活かしていきたいですね。

三ツ木 本日はありがとうございました。

(取材/平成17年7月)

一企業として社会的責任を果たしたい

リサイクル法の施行やアスベスト対策を始め、多くの規制を受けている解体業界。分別解体が義務付けられ、経費削減など多くの課題を抱える企業が多い中、「コスモ・エコ」では、一企業としての社会的責任を認識し、社会貢献を第一に考えた誠実な仕事をモットーとしている。リサイクルを前提として分別解体のルールに沿って無駄な経費をできるだけカットすることで、格安で家屋解体工事を提供。また、「環境負荷を下げる＝全体のコスト低減」という企業努力を惜しまない。さらに、解体、産業廃棄物収集運搬に付随する外構工事、造成工事、不動産関連業務なども手掛けている。多様化するお客様の要望に応えることで喜んで頂き、社会貢献度の高い企業を目指しているからこそだ。解体に関するお客様の質問や相談にも丁寧に対応。工事においては、設計図面を参考にした上で、実際の工事現場を想定し、解体工事計画を立てるといふ。後工程の工事を見通した上で段取りを立てることで、後々のトラブルを事前に防ぐ努力をしているのだ。平成15年11月設立とスタートからまだ間もないながらも、こうした誠実かつ丁寧、良心的な姿勢で、着実に信頼基盤を構築している同社の今後を期待したい。